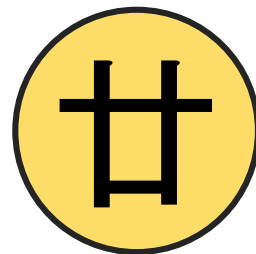


# NEWS LETTER

## 子育てモニター

### 市長意見交換会を開催しました！！



本市では、令和6年2月14日に「こどもが主役のまち はつかいち宣言」を行い、こども・子育て世代を見守り、応援し、安心感と温もりのあるまち、こども達が健やかに育つまちを目指しております。この取り組みの一環として子育て中の保護者の方や子育て関連の取り組みをされている方から生の声を聞かせていただきました。

#### ～開催情報～

(日時) 令和6年9月21日

10:30～12:00

(場所) 学研廿日市市多世代サポートセンター 学研ホール

#### 市長より～子育ての取り組み説明～

まず、市長から、子育て支援を戦略的な取組と位置付け、主に「経済的負担の軽減」と「子育てしやすい環境整備」について取り組んでいること、そしてその具体的な施策として、保育料の支援や子供の医療費負担の軽減、保育士の負担軽減、民間事業者への補助による留守家庭児童会の拡充などに取り組んでいることが述べられました。



#### 参加者での意見交換

参加者それぞれが、子育てについて感じていることや、取り組んでいること、支援を期待していることなどを、市長と意見交換する形で発言しました。

##### ○おむつについて

支援センターでのおむつの販売や使用済みおむつの回収、おむつ代の負担軽減策、保育園におけるおむつのサブスクリプションサービスについての提案がありました。

##### ○情報発信について

子育て支援に関する情報がわかりやすくまとまっていないため、情報発信の仕組みの改善を求める意見がありました。

##### ○遊び場について

屋内外の遊び場の不足や、放課後の校庭開放に関する課題、公園の不足など意見がありました。

##### ○保育園について

公立保育園でのICT化の遅れや、保育士の負担軽減、布団持ち帰りの負担軽減などが課題として挙げられました。

##### ○その他

習い事塾代助成や、地域の子育て活動団体への助成などについての意見が出されました。



#### 経営企画部長より～感想～



今回の意見交換会では、参加者の皆様から、現場の声を直接お聞きすることができ、大変貴重な機会でした。経済的なおむつの負担感や使用済みおむつの処理などおむつ全般に関するお話やこどもが伸びのびと遊べる環境など、実体験に基づいた具体的な提案が多く寄せられ、子育て支援の現状と課題を深く実感しました。これらの意見から、行政と市民が一体となって、子育てしやすいまちづくりをさらに推進していく必要性を強く感じています。引き続き、現場の声を参考にしつつ、柔軟で効果的な施策を考えてまいります。